

**大学名** 東京学芸大学

**第74号 特集タイトル**  
「未来社会に向けた教員養成」

**表題** 教員養成フラッグシップ大学としての自律型カリキュラムデザインと先導的教職科目開発

**自律型カリキュラムデザイン**

学生は1年次にワークや自己分析に基づき目標とする教師像をイメージしながら、自ら学びのテーマを設定する。先導的教職科目である教育創成科目からテーマに基づいた授業科目を選択し、自己創造のための教育体験活動を組み込む等して、テーマに基づいたカリキュラムをデザインしていく。2年次にはフォローアップのガイダンスを実施し、自己成長の軌跡を確認、3年次には設定されたテーマに沿った教育実習に繋げていく。

取組を通して、教職へのモチベーションを高い水準でキープ



**目標とする教師像へと導く先導的授業科目(教育創成科目)**

教育創成科目は、教育の様々な課題について、先端的な内容を学ぶ科目群です

テーマ	子供と教師が共に新たな社会を創造していく学校教育の実現				
目指す人材像	【対子供】変化が激しく予測困難な時代へ対応できる力と新たな価値を創造することができる力を子供に育成することができる教師		【教師自身】学校や社会をより良く変革することに自律的・主体的に取り組むことができる力を有する教師		
伸ばす資質・能力	「探究力、創造力、他者・社会と協働できる力」を育成する力	子供が置かれている多様な環境への対応力	学び続けるために、自己をマネジメントする力	学校教育のより良い変革に資する基盤となる探究力、創造力	学校内での協働・社会との協働をマネジメントする力
対応する教育創成科目	★社会に開かれた探究と創造の学びのデザイン ★学びを支えるファンテーションの技法 (選択必修科目) キーワード: STEAM、主体的な学び 等	★チーム学校と多職種協働(貧困・虐待など子供の現状) (選択必修科目) キーワード: 外国人児童生徒、特別支援、いじめ不登校等 ★は学校教育教員養成課程の必修科目であり、フラッグシップ大学の特例として、小学校教諭一種免許状の指定大学が加える科目としている。	★教師のレジリエンスと自己管理能力の育成 (選択必修科目) キーワード: 学び続ける教師、学校経営 等	★教育のためのデータサイエンス (選択必修科目) キーワード: EdTech、ICT活用、世界の教育 等	★チーム学校と多職種協働(連携のための効果的なマネジメント) (選択必修科目) キーワード: 地域連携、チーム学校、学校安全 等

**自己創造のための教育体験活動**

3年次の教育実習に参加する前に、主に1年次、2年次に教育現場等で、一定期間体験活動を自主的に行うことを通して、教職の意義や大学での学びの意味に気づくこと。

**活動例**

- 平日、長期休業中における教育体験活動 授業参観、指導補助、教材研究補助、授業準備補助、水泳指導補助、部活動指導補助、移動教室引率補助、放課後これも教室支援、研究公開への参加など
- 週末の教育体験活動 運動会や文化祭等の行事における指導補助、部活動指導補助など

**自律型カリキュラムデザインによる4つの効果**

- 〇 各授業科目において得られる力が明確化、学生の目的意識が明確になることによる高い学習効果
- 〇 学生が、学ぶ側にたつて、体験的に、カリキュラムづくりを考える機会を提供
- 〇 それぞれのニーズにあわせて履修科目を選択可能、無駄のない個別最適なカリキュラムが実現
- 〇 自ら履修計画を立てることによる、学生の主体性、自律性の成長